

SPARKLING CHAMBER MUSIC

煌めきの室内楽

莊村清志 & マーク・グローウェルズ & 小林沙羅

ギター

フルート

ソプラノ

KIYOSHI SHOMURA GUITAR, MARC GRAUWELS FLUTE, SARA KOBAYASHI SOPRANO

ギター フルート ソプラノが織りなす
音の宝石箱



©Hiromichi NOZAWA

©NIPPON COLUMBIA

PROGRAM

プホル: ブエノス・アイレスの雲 ○☆

イベール: 間奏曲 ○☆

～武満徹没後30年～

「ギターのための12の歌(武満徹編曲)」より
ロンドンデリーの歌(アイルランド民謡) ☆

小さな空 ◇☆

翼 ◇☆

死んだ男の残したものは ◇☆

ラヴェル: 魔法の笛(シェヘラザードより) ◇○☆

サン=サーンス: 見えない笛 ◇○☆

マルティニ: 愛の喜び ◇☆

ドリーブ: カティスの娘たち ◇☆

タレガ: アルハンブラの思い出 ☆

ピアソラ: 「タンゴの歴史」より Café 1930, Bordel 1900 ○☆

ロドリゴ: フアン・ラモン・ヒメネスの2つの詩 ◇○

アダン: キラキラ星の主題による変奏曲 ◇○☆

◇ソプラノ ○フルート ☆ギター

2026. **6/20** 土

2:00PM開演(1:30PM開場)

A ¥4,500 B ¥3,500 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター
神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22
阪急西宮北口駅南改札口スタ/ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売 **3/22** 日 芸術文化センター会員
先行予約受付開始 **3/20** 金・祝

芸術文化センターチケットオフィス

☎0798-68-0255 | 10:00AM - 5:00PM
月曜休み ※祝日の場合翌日

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

窓口での販売(残席がある場合) 3/24(火)より

※未就学児はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が
変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。



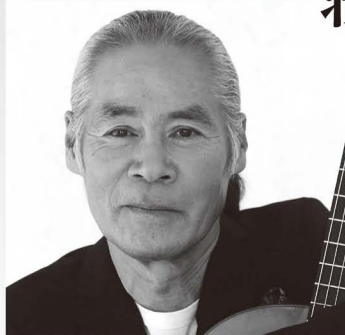
主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

重なり合う音と歌声の 美しいハーモニー

バッハから現代音楽まで多彩な楽曲を演奏する日本を代表するギタリスト 荘村清志。モリコーネ、ピアソラ他

世界各国の作曲家から楽曲を献呈され、ピアソラの代表曲「タンゴの歴史」初演のフルーティスト マーク・グローウェルズ。これまでに何度も共演した二人に、荘村清志との数々の共演で感動的なステージを提供してきたソプラノ歌手小林沙羅の三人でお届けするコンサートです。荘村と深い親交のあった世界を代表する武満徹を始め、異国情緒漂うラヴェル「魔法の笛」、世界中で愛されているギターの名曲「アルハンブラの思い出」。「キラキラ星の主題による変奏曲」は、モーツァルトの作品としても聴き覚えのある愛らしいメロディーですが、アダンの作品はより華やかな雰囲気でも聴く人を楽しませてくれます。二つの楽器と一人の歌声が織りなす色彩豊かな音楽の世界を、ぜひお楽しみください！

荘村清志 Kiyoshi Shomura, Guitar



©Hiromichi NOZAWA

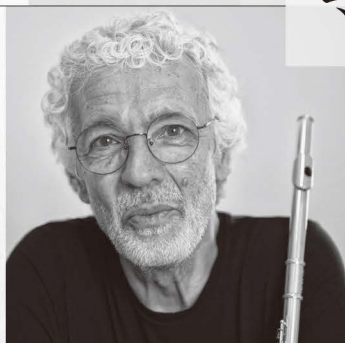
実力・人気ともに日本を代表するクラシックギター奏者として長年にわたり第一線で活躍し、2024年にデビュー55周年を迎えた現在も、精力的な演奏活動を展開している。

9歳よりギターを始める。1963年に来日した巨匠ナルシソ・イエペスにその才能を認められ、翌年スペインに渡りイエペスに師事。1969年の日本デビュー・リサイタルでは「テクニック、音楽性ともに第一人者」と高く評価され、華々しいスタートを切る。1974年にはNHK教育テレビ『ギターを弾こう』に講師として出演し、その明快な指導と演奏で全国的な人気を博す。2007年には再びNHK教育テレビ『趣味悠々』に登場し、ギター界の第一人者としての地位を確固たるものとした。2017年からは「荘村清志スペシャル・プロジェクト」(全4回)に取り組み、さだまさし、coba、古澤巖、錦織健らジャンルを超えたアーティストとの共演を実現。ギターの可能性を広げる意欲的な試みとして話題となった。2020年には朝日新聞の連載「人生の贈りもの」をまとめた書籍『弾いて飲んで酔いしれてギターとともに50年』(吉田純子 編著)を出版。

現代音楽にも積極的に取り組み、多くの作品を委嘱・初演し、ギターのレパートリー拡充に貢献。とりわけ武満徹とは公私ともに深い関わりがあった。現在、東京音楽大学特任教授として後進の指導にもあたっている。

公式サイト:kiyoshishomura.com

マーク・グローウェルズ Marc Grauwels, Flute



マーク・グローウェルズは、現在最も著名なフルート奏者の一人。19歳でフランドル・オペラにてオーケストラ・デビューを果たし、ブリュッセルのモノ劇場ピッコロ奏者、ベルギー国営放送交響楽団首席フルート奏者を歴任。1986年にはカルロ・マリア・ジュリーニ指揮による「ワールド・オーケストラ」の創設メンバーに選ばれた。1987年以降ソリストとして本格的に活動を広げ、ブリュッセル王立音楽院やモンス王立音楽院で後進の指導にも尽力している。アストル・ピアソラから《タンゴの歴史》を献呈され、また多くの作曲家に作品を委嘱。映画『アマデウス』のサウンドトラック録音に参加し、モーツァルト全集170枚組にも名を刻んでいる。現在はブリュッセルの「クラシッシモ音楽祭」、フランスの「レ・プレジール・デテ」音楽祭の芸術監督、室内オーケストラ「ヴィルトゥオーゾ・ディ・ワーテルロー」の音楽監督を務め、年間100公演以上に出演。80枚を超える録音を残し、その中には荘村清志との共演によるEMI盤も含まれている。

2007年以降はミヤザワフルートの公式エンドーサーとしても活動している。

小林沙羅 Sara Kobayashi, Soprano



©NIPPON COLUMBIA

東京藝術大学及び同大学院修了。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。12年ソフィア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』で欧州デビュー。15年及び20年野田秀樹演出『フィガロの結婚』、17年藤原歌劇団『カルメン』、19年『ドン・ジョヴァンニ』、21年『夕鶴』、21年『千姫』、23年1月井上道義『降福からの道』、7月『ドン・ジョヴァンニ』と話題作に続々出演。また、マーラー交響曲第4番、フォーレ「レクイエム」等ソリストとして多くのオーケストラと共演。19年サードアルバム「日本の詩(うた)」をリリース。17年第27回出光音楽賞、19年第20回ホテルオーケラ賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。

芸術文化センターでは、佐渡裕芸術監督プロデュース・オペラやジルヴェスター・ガラ・コンサート、第156回定期演奏会:マーラー交響曲第8番「千人の交響曲」など出演多数。

便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら

